



ペンネーム	HEROES
【エピソードのタイトル】 海響マラソンと共にスペシャルオリンピックス下関	
【エピソードの内容】 スペシャルオリンピックス下関設立のお披露目の場が、ゲストランナーとして呼んでいただいた、有森祐子(スペシャルオリンピックス日本・理事長)と一緒に走った2009海響マラソン2キロファンランでした。 下関でも産声を上げた「スペシャルオリンピックス」は知的発達しょうがいがあるアスリートの自立と社会参加を促す為の国際スポーツボランティアの団体です。 初めて参加した時も「障害があっても参加できるだろうか?」「こんなにたくさんの人たちの中で大丈夫だろうか?」「電動車椅子でも参加できるだろうか?」と、の不安(???)の中、海響マラソン事務局の方達から励ましの声を掛けていただきながら、終わってみれば2キロファンランの中で1番と一番最後のランナーで全員完走できました。話すことはできなくても、感情をストレートに表出できなくても、アスリート達はいい笑顔でした。伴走したコーチ・ボランティア・ファミリーもまた達成感を味わうことができました。 あれから、SON陸上プログラムでは海響マラソンに出場することが目標です。また、一人一人のアスリート達は2キロから5キロへ、フルマラソンへとステップアップしています。今回もまた、同じSON(スペシャルオリンピックス日本)山口と北九州からも『海響マラソンであいましょう』を合言葉に参加しています。 2011年10月1日、東京で開催された、スペシャルオリンピックス日本のナショナルミーティングの場で、有森祐子理事長から「私も参加できた海響マラソンの灯をつないで、つづけてくださいね。」とメッセージを受けました。 SOではアスリートが唱和する誓いの言葉があります。『私を勝たせてください。たとえ勝てなくても、戦う勇気を与えてください』。多くの仲間と出会う場、初めてでも参加できる場、自分の可能性を引き出してくれる場が、海響マラソンです。	